

アレスシッコイの抗菌性について

関西ペイント販売株式会社
建設塗料本部 営業部

【微生物が生育可能なpH領域とは？】

カビや細菌(大腸菌、MRSA、O-157等)などの微生物は、生育可能なpHが存在し、この範囲で活発に増殖する。酸性から弱アルカリ性が生育可能範囲で、最適な範囲は中性(pH 7)付近である。

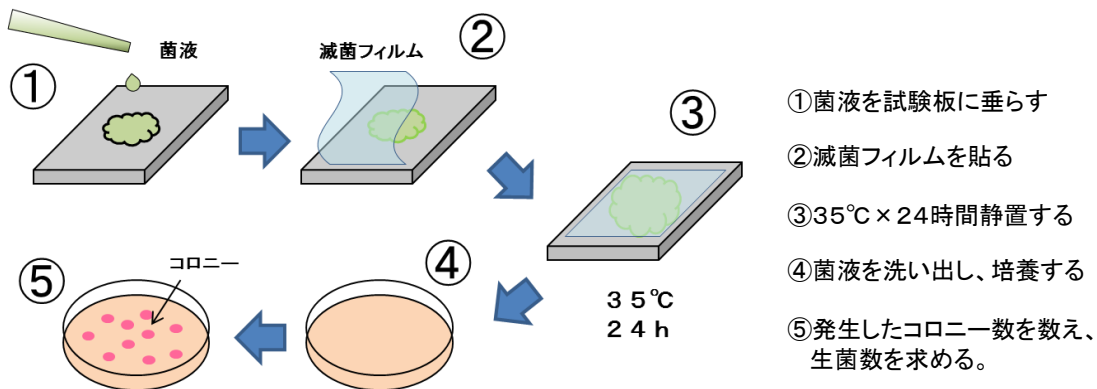


	生育可能	最適範囲
カビ	2.0~8.5	5.0~6.5
細菌	5.0~9.0	6.0~7.0

アレスシッコイの表面は強アルカリ性(pH11以上)であり、微生物が生育できない環境となる。すなわち抗菌性を有している。



【抗菌試験】 JIS Z 2801-2000 抗菌加工製品 抗菌試験 (財)日本食品分析センター実施



【結果】

試験菌	測定	試験片	試験片1個あたりの生菌数 n=3平均
大腸菌	接種直後	無塗装	3.7×10^5
	35°C 24h後	無塗装	2.5×10^7
		アレスシッコイ	検出せず
MRSA	接種直後	無塗装	2.6×10^5
	35°C 24h後	無塗装	9.6×10^5
		アレスシッコイ	検出せず

他にも、黄色ぶどう球菌、緑膿菌でも同様な結果が得られている。

写真:24時間後の試験結果(大腸菌)



写真:24時間後の試験結果(MRSA)

